

表10. 大学における婦人研究者の階層別分布

(1) 4年制大学

	計		国立大学		公立大学		私立大学	
	総数	婦人(比率) [%]	総数	婦人(比率) [%]	総数	婦人(比率) [%]	総数	婦人(比率) [%]
学長	399	23 (58)	77	0 (0)	32	0 (0)	290	23 (80)
副学長	51	2 (39)	5	0 (0)	-	- (-)	46	2 (43)
教授	27,475	806 (29)	11,278	165 (15)	1,402	45 (32)	14,795	596 (40)
助教授	19,470	1,162 (60)	10,491	318 (30)	1,229	67 (55)	7,750	777 (100)
講師	11,920	1,267 (106)	3,900	207 (53)	757	69 (91)	7,263	991 (135)
助手	27,261	3,934 (144)	15,117	1,315 (87)	2,092	333 (159)	10,052	2,286 (227)
計	86,576	7,192 (83)	40,868	2,005 (48)	5,512	514 (93)	40,196	4,675 (116)

大学における婦人研究者は、4年制大学・短期大学ともに助手層に多く、講師、助教授、教授と上層になるほど減少する。そのほか、教務員、技官の地位で研究をしている婦人も多い(図1参照)。婦人教員の数の最大は私立短大、次いで私立大学であり、下の参考表のごとく教育研究条件の劣るところに集中している。

全体として婦人研究者の研究条件は劣悪である。

(2) 短期大学

	計		国立大学		公立大学		私立大学	
	総数	婦人(比率) [%]	総数	婦人(比率) [%]	総数	婦人(比率) [%]	総数	婦人(比率) [%]
学長	373	69 (185)	1	0 (0)	41	0 (0)	331	69 (208)
副学長	89	15 (169)	-	- (-)	1	0 (0)	88	15 (170)
教授	5,315	908 (171)	162	7 (43)	470	59 (125)	4,683	842 (180)
助教授	3,426	1,271 (371)	202	11 (54)	424	105 (248)	2,800	1,155 (405)
講師	3,922	1,860 (474)	80	10 (125)	246	93 (378)	3,596	1,757 (489)
助手	2,044	1,536 (751)	103	23 (223)	290	168 (579)	1,651	1,345 (815)
計	15,169	5,659 (373)	548	51 (93)	1,472	425 (289)	13,149	5,183 (394)

(参考)

大学・短大の教員(本務)1人あたり学生数

	1965	1970	1975
国立大学	11.2	11.9	11.7
私立大学	37.3	40.1	41.0
国公立短大	21.7	19.7	16.7
私立短大	18.5	20.6	27.3

文部省「我が国の教育水準」

文部省「学校基本調査」(昭和49年度) 図1をも参照のこと